

各コミュニティのキーパーソン達と密に連携し、各コミュニティのもつ特性にあう情報提供、また各コミュニティから様々なニーズの提供、気軽に相談してもらえるような信頼関係を構築することで外国籍住民が望む、便利で有益な情報を確実にコミュニティへ伝えられるネットワークを作り、みんなが安心して快適に住める街にしていきたいと考えています。

外国籍住民コミュニティと地域住民とが相互理解を進める場を提供することも大変重要です。近くに理解し合える日本人が住んでいればどれだけ心強いでしょうか。

外国籍住民と地元住民との間で起きる問題の多くは些細な誤解から生まれるものが多く、地域住民間の互いの生活、文化風習を理解しあうことがとても重要です。

大変素晴らしい外国人コミュニティと地域との多文化共生への取り組みとして熊本マスジド*2の黒髪地区での取組があります。

熊本市で一番の外国人集住地域である黒髪地区ではイスラム教の留学生が熊本大学で学んでおり、その多くは家族も一緒に熊本で生活しています。海外でも、家族みんなと一緒に暮らす、イスラム教の習慣の一つでもあります。イスラム教の留学生が増えるまで、地域住民にとってイスラム教はあまり馴染みがありませんでした。熊本マスジド（熊本イスラミックセンター）では、地域住民との摩擦を少しでも減らし、住みやすい生活環境を作るための、イスラム教を理解してもらうセミナーや、食文化を紹介する交流会を開催しています。また、黒髪地区の行事にも熊本マスジドとして積極的に参加され交流を深めています。

このように、地域住民と外国籍住民がお互いを理解し、問題なく共存できるように地域コミュニティと外国人コミュニティがざくばらんに話し合える環境作りを事業団として積極的に進めていきます。

外国籍住民も地域住民も問題があれば一緒に考え、一緒に取組、一緒に解決する。普通のことを普通にできる多文化共生社会を実現にむけ、少しずつ着実に努力していきたいと思います。

*1 法務省入国管理局 在留外国人統計 平成 27 年 6 月末データより

*2 イスラム教の礼拝堂（モスク）

(別紙資料②)

《平成 27 年度防災アンケート集計》

1. 回収数 108 (日本語 29、英語 69、中国語 10)

2. 国籍 25(その他 4)

ポーランド	1	日
中国	22	日 12・中 10
台湾	3	日 3
タイ	8	日 6・英 2
シンガポール	1	日 1
ベトナム	4	日 4
インド	1	英
エジプト	1	英
ソロモン諸島	2	英 2
メキシコ	3	英 3
ミャンマー	3	英 3
スリランカ	1	英
カナダ	1	英
フィリピン	40	英 40
パキスタン	1	英
インドネシア	1	英
米国	1	英
日本	2	日 2
タンザニア	1	英
アイルランド	1	英
ベネズエラ	1	英
ルーマニア	1	英
ナイジェリア	1	英
ブラジル	1	英
オーストラリア	1	英
アジア	1	英
ヨーロッパ	1	英
南米	3	英 3

質問

1. 今回の台風 15 号が熊本へ接近することを事前に知っていましたか。
① 知っていた 101 ② 知らなかった 7

2. 1.で知っていた方はどのような手段で台風情報を収集しましたか？

① TV 73 ② ラジオ 2 ③ インターネット 28
④ 多言語災害メール 7 ⑤ 友人・知人 27
⑥ 情報が入らなかった 1

3. あなたは普段、生活に関する情報をどこから得ていますか。

① メディア 86 ② 友人・知人 24 ③ 学校・職場など 12
④ 出身国ネットワークなど 9 ⑤ 会館・にほんごクラブ等 9